

入試に関するイベントの情報など、

大学の最新情報は

大学公式ウェブサイト・SNS でお知らせします。

大学公式ウェブサイト

<https://www.eikei.ac.jp/>



受験生情報サイト

<https://admissions.eikei.ac.jp/>



公式 SNS アカウント



叡啓大学公式 Instagram

@eikei_univ



叡啓大学公式 X

@EikeiUniversity



叡啓大学公式 Facebook ページ

@EikeiUniversity



叡啓大学公式 YouTube

@eikeiuniversity



交通アクセス

Access to the campus



広島県公立大学法人

叡啓大学

EIKEI UNIVERSITY OF HIROSHIMA

<https://www.eikei.ac.jp/>

〒730-0016 広島市中区幟町1-5

TEL:082-225-6201(代表)

E-mail:publicrelations@eikei.ac.jp



広島県公立大学法人

叡啓大学

EIKEI UNIVERSITY OF HIROSHIMA

EIKEI
UNIVERSITY
OF HIROSHIMA
2026

ソーシャルシステムデザイン学部

ソーシャルシステムデザイン学科

Creating Shared Futures

未来をつくる仲間と出会う



CHECK

YouTube 動画

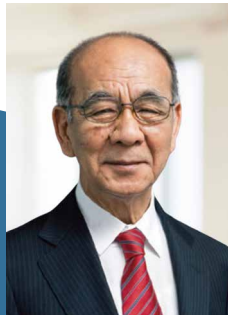
「5分でわかる観望大学！」

理 念

「自らが将来のありたい社会を創ること」、そのために、「自らが課題を発見し、解決策を立案し、他者と協働しながら、リーダーシップを発揮し、実行することを通じて、新たな社会価値を生み出すこと」を理念としています。

学長メッセージ

国際政治は混迷の度を深め、世界経済にも大きな影響を与えようとしています。社会基盤としての政治、経済が大きく変化する中で、生成型AIや量子コンピュータ等、科学・技術の発展は予想を大きく上回る速度で進み、全く新しい世界が拓かれる予兆を感じさせます。一方で、人間の活動の拡大が地球環境に及ぼす影響は益々顕在化し、回復不可能な状況が近づいているとも言われています。日本の現状を見ると2018年に予測した2040年の18歳人口が88万人だったのに対して2024年の実際の出生数は70万人を切ってしまいました。一方で2022年のPISAの結果を見ると日本の15歳の子供達の成績は世界のトップクラスになっています。少子化が進む中で日本の若者たちの持っている高いポテンシャルを伸ばし、個々人の創出する価値を高めることなくしては日本の未来を描くことはできません。急速に変化する社会に流されるのではなく、望ましい社会の夢を描きそれを実現していく力、コンピテンシーを若者たちに身につけてもらうことは高等教育の使命です。叡啓大学での学びによってコンピテンシーという価値を身につけた若者たちが新たな社会の創造を牽引することを夢見ています。

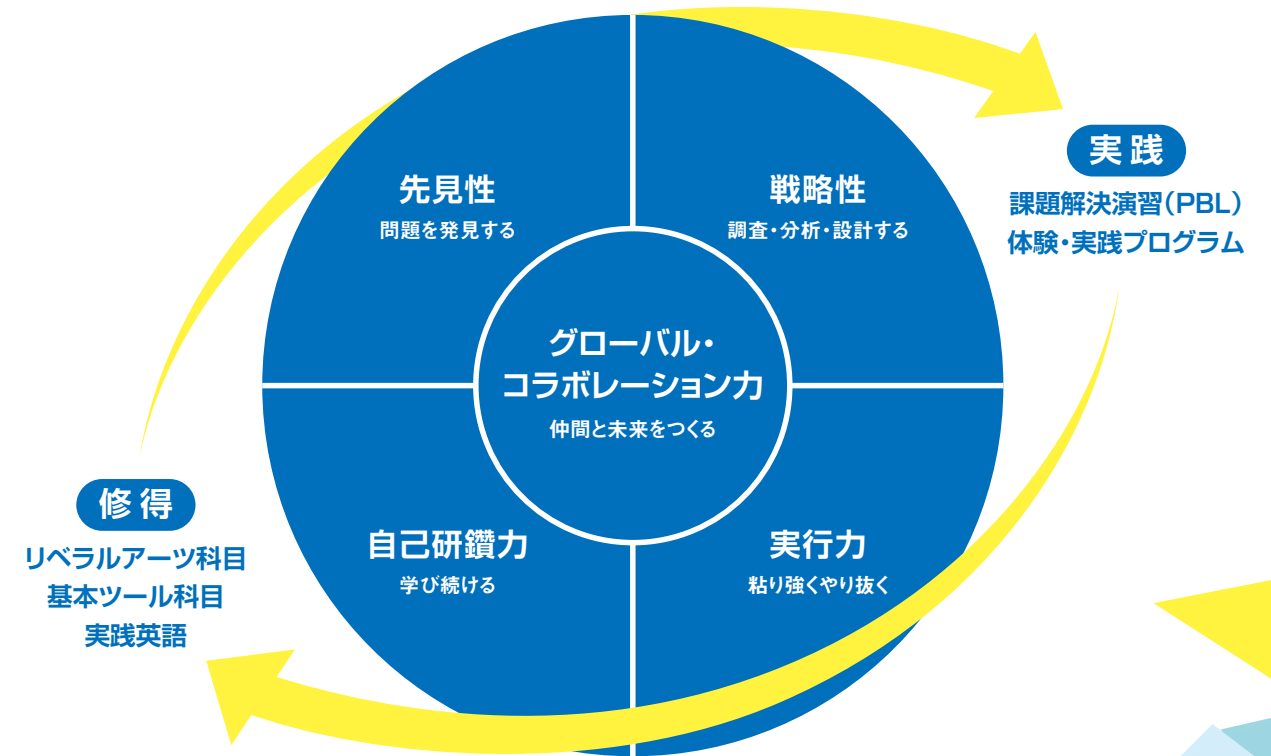


学長
有信 睦弘
ARINOBU Mutsuhiro

[経歴]1976年東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻博士課程修了(工学博士)。東京芝浦電気株式会社(現・株式会社東芝)研究開発センター所長、執行役常務などを経て、2009年に横浜国立大学理事、10年に東京大学監事、14年に理化学研究所理事。18年4月から東京大学執行役・副学長(2021年3月まで)。文部科学省中央教育審議会委員、同大学院部会会長、同大学分科会将来構想部会委員を歴任、日本技術者教育認定機構(JABEE)顧問などを務める。

社会で新たな価値を創り出すために

必要な5つのコンピテンシー(資質・能力)を身につけた、
未来を描き、つくり出ることができる人材となる。



5つのコンピテンシーについて、
詳しくはこちらから

社会の課題を発見し、新

ソーシャルシステムデザイン学部

大学の特長

Feature 01 5つのコンピテンシー Five Competencies

社会で新たな価値を創りだすために必要な資質(5つのコンピテンシー)を身につけた、未来を描き、つくり出ることができる人材となる。



Feature 03 社会とのつながり Collaboration with Society

正課内外で実社会と関わる体験が圧倒的。社会を知り、経験を積み、人とつながる機会がある。



Feature 02 多様性のための英語 English for Diversity

実践的な英語を身につけ、多様な価値観を理解できる人になる。



Feature 04 クエスト探究のためのサポート Support for Quests

あなたが関心のある社会での課題について、自由に探究や解決への実践ができ、あなたの力を引き出すサポートがある。



学部長・特任教授 石川 雅紀
ISHIKAWA Masanobu

東京大学大学院工学系研究科化学工学専攻(工学博士)。東京水産大学助教授、神戸大学大学院経済学研究科教授を経て2021年から観啓大学 特任教授。環境経済学。神戸大学名誉教授。2006年NPOごみじやん設立。環境省、経産省、農水省、消費者庁などの審議会委員などを歴任。研究テーマはプラスチックごみ問題、食品ロス問題など。

仲間と一緒に未来を創ろう

どんな未来を創りたいですか？
未来はどうやって創るのでしょうか？

観啓大学はこのような課題に取り組む場です。未来を創るために最も大事なことは、自分で未来を変えようと思うことです。観啓大学にはこの熱い思いを持った学生がたくさん集まっています。そして、課題を見つけ、問いを発し、論理的に分析して解決策を導き出す方法を教育する教員、学生の教育や、生活面を支援する職員がいます。学生が実社会の課題に取り組むことを応援し、協働する企業、行政、NPO、国際機関などが集まっています。

未来を創る人を育成するために、観啓大学では実社会の課題を教材として重視します。実社会の課題は、数学の問題のような客観的で唯一の正解があることが保証されていません。最適解を見出すためには、それぞれの問題に応じた課題解決の方法論、幅広く基礎的な知識、創意工夫が必要です。観啓大学のカリキュラムはこれらの知識、経験を積むことができるように設計されています。4年間を通して身の周りの課題から、企業やコミュニティ、海外の課題まで取り組みます。

主体性と集合知の創出を鍛えるグループワークなどを重視したアクティブ・ラーニングは全科目で行っています。SDGsを重視し、幅広い教養を身につけるリベラルアーツ科目、未来を切り拓くための実践英語、ICT分野などの基本ツール科目を学び、課題解決演習では企業、行政、NPO、国際機関などと実社会の課題に協働で取り組みます。教室と実社会を往復しながらレベルアップし、卒業プロジェクトでは学生がそれぞれ取り組みたい課題に取り組みます。これが「学びのスパイラル」です。

この「学びのスパイラル」では、連携先の企業等の人材も学生との協働を通じて課題解決の体系的な方法論、新鮮なアプローチなど学びが得られ、レベルアップします。未来を創る意思と力を持った卒業生が社会に出ることに加えて、観啓大学の教育プロセス自体でも未来を望ましい方向に創る仕組みになっています。

2025年の春に1期生が卒業しました。卒業生は在学中に経験する様々な活動の中で自らの可能性を探究し、民間企業、グローバル企業、起業など、多様な進路へと歩みを進めています。一緒に未来を創りませんか。

たな価値をデザインする。

ソーシャルシステムデザイン学科

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

「修得」と「実践」で構成するカリキュラム体系

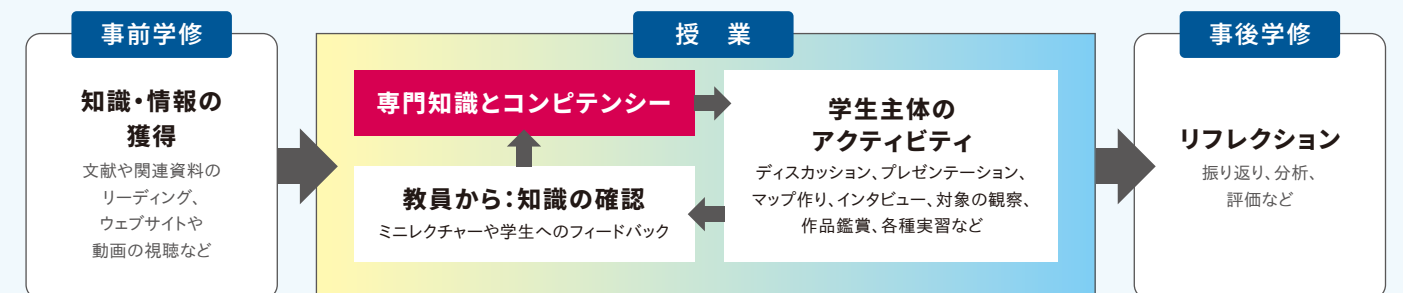
ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与方針)で定められたコンピテンシー(資質・能力)が身につくよう、「リベラルアーツ科目」や「基本ツール科目」、「実践英語」による知識・スキルの「修得」と、「課題解決演習」や「体験・実践プログラム」による「実践」を何度も往復したうえで、「卒業プロジェクト」に取り組みます。自分の課題意識や学修状況に応じた履修を重ねることで、コンピテンシーの獲得と学位の取得を目指します。

■「修得と実践のサイクル」を軸とした独自の教育システム



カリキュラム・ポリシーについて、詳しくはこちらから

アクティブ・ラーニング すべての科目と授業で学生参加を促す授業スタイル



1クラス25人の少人数教育

学生一人ひとりにより応じた指導を行うため、原則として1クラス25人程度で授業を実施します。
※英語集中プログラムは1クラス16人程度です。

主体的に学べる100分授業

教員による一方的な講義は最大で20%程度を目安とします。学生同士の対話やグループディスカッション、質疑応答の時間を多く確保します。

2コマ連続授業だから集中して取り組める

1コマ100分の授業を2コマ連続で行うことで、同時期に並行して履修する科目が少なくなり、ひとつの授業に集中して取り組むことができます。

アクティブ・ラーニングについて、詳しくはこちらから >>>



知識・スキルの 「修得」 Academic input



英語のシャワーに触れる日常で「グローバル」な人材に

コミュニケーション力を駆使して異なる文化・価値観などを有する人と協働し、グローバルに活躍できる力を養うため、実践的な英語を学修します。また、海外から積極的に留学生を受け入れ、キャンパスのグローバル化を推進しています。

1

英語集中プログラム

6か月

英語で授業を受けられるレベルに達するよう、1年次の最初の半年間で「Intensive English Program(英語集中プログラム)」を実施します。少人数・習熟度別(初級・中級・上級)にクラスを編成し、英語のみを使用することで、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング、プレゼンテーション力を鍛えます。

2

英語での単位修得

62単位以上

卒業に必要な124単位のうち、62単位以上は英語で単位を修得することが要件となります。一部の科目(留学生を対象とした日本語の授業)を除き、同一科目を英語と日本語両方で開講するため、すべての科目を英語により履修し卒業することができます。

3

留学生

4人に1人

1学年100人のうちの20人程度の留学生に加え、交換留学などにより滞在する海外大学の学生を含めると4人に1人は外国人学生となるよう、キャンパスのグローバル化を推進しています。様々な文化的背景や価値観を持つ留学生と日頃から英語でコミュニケーションを取ることで、多様性を尊重する国際感覚を身につけます。

イノベーションの最先端を体験できるスタンフォード大学SPICEとの連携授業

叡啓大学は、スタンフォード大学SPICEと連携して「Social Entrepreneurship」の授業を英語で開講しています。授業では、スタンフォード大学SPICEの専門教員から社会イノベーションについて学びます。具体的には、シリコンバレーで活躍する実務家や教員のケーススタディとグループワークを通じて、社会イノベーションとソーシャル・アントレプレナーシップについて理解を深め、国際的な視野を養います。世界を変える新しいビジネスモデルやアイデアを探究し、それを実現するためのスキルを身につけたいと考えている学生にとって理想的な学修機会を提供します。



【スタンフォード大学SPICEとは】

正式名称は「Stanford Program on International and Cross-Cultural Education (SPICE) (日本語では「スタンフォード大学国際相互文化教育プログラム)」で、スタンフォード大学国際研究所FSIの部局。1976年の開設以来、初等教育から高等教育までのカリキュラム開発、教員の専門性開発、遠隔学習コースの開発を行っており、Stanford e-Japan活動をはじめとする日本に向けたプログラムを提供している。

実践英語について、詳しくはこちらから >>>



デジタルスキルや思考力の向上

デジタル社会に必要なスキルを身につける

IoTやAIなどが注目されるなか、本学でも、ICTおよびデータサイエンス、ロジカルシンキング、デザイン思考、システム思考など、今後の社会で必要とされるスキルの修得を目指します。



基本ツール科目 Basic tool courses

ICT・データサイエンス

ICTやプログラミングの基礎や活用方法(デジタルリテラシー)などを理解し、課題解決や事業立案などのツールとして活用します。また、データを収集・分析して判断材料とする手法を修得し、実社会の課題に対し統合的な解決策を立案する戦略性の育成を図ります。ICTを活用する際に重要な情報倫理の学修機会も設けています。



[例] Webサイトやアプリの作成技法、分析結果を効果的に活用するための技法、IoTやAI、データサイエンスを活用する手法など

思考系

課題解決に必要な、基本的な思考のスキルである論理的思考力を養います。実社会における課題解決プロセスで必要となる、プロジェクトを進める手法や他者と協働して議論を促進し合意形成を図る方法などのスキルを修得し、実社会の課題に対し統合的な解決策を立案する戦略性を育成します。



[例] ロジカルシンキング、デザイン思考・システム思考、プロジェクトマネジメント、ファシリテーションなど

基本ツール科目について、詳しくはこちらから >>>



A STUDENT'S VOICE

毎日英語に触れ、アクティブな学びで英語力を大きく伸ばせる環境

少人数で行われるIntensive English Program(英語集中プログラム)で、毎日英語に触れながら実践的なスキルを磨きました。入学前と比べ、TOEFLのスコアが大幅に向上し、長文レポートやディスカッションにも積極的に挑戦できるようになりました。もともとライティングが苦手でしたが、授業で文章構成を一から学んだことで自信を持ってレポートに取り組んでいます。今後は海外でのインターンシップや留学を経験し、異なる文化に触れながら英語力をさらに高めたいです。将来は多様な価値観を持つ人々と協働し、英語を使いながら社会課題の解決に貢献することが目標です。

ソーシャルシステムデザイン学科 2年

青木 真耶さん AOKI Maya 島根県(広島県立安芸府中高等学校)出身



知識・スキルの 「修得」 Academic input



リベラルアーツ科目 Liberal arts Courses

叡啓大学では、リベラルアーツ教育で現代社会におけるさまざまな課題の理解に必要な知識やアプローチ方法を学び、主に「先見性」「自己研鑽力」のコンピテンシーを育成します。叡啓大学のリベラルアーツ科目は、SDGs（国連総会で採択された、持続可能な開発のための国際目標）を意識し、学びの軸としています。SDGsの17のゴールを国連が分類した5つのP（Peace平和、Partnership共創、People人間、Prosperity繁栄、Planet地球）を軸として設定し、学生が各自の興味関心に応じて、課題を見る際の視点となる「ウィンドウ」を選択し、各ウィンドウのテーマに有用な知識を学ぶことができます。（主な学問領域は、人文学関係（芸術・文学、哲学・倫理学、心理学、文化人類学）、経済学関係（経営学）、理学関係のうち環境学）



学びの軸とする5つのP

Peace（平和）とPartnership（共創）は、SDGsの17すべてのゴールに共通する方法論と位置づけ、学生全員が「基盤科目」として履修します。2年次からPeople（人間）、Prosperity（繁栄）、Planet（地球）をより具体的な課題領域「発展科目」として学びます。「発展科目」では、3つのPのうち自ら選んだ1つを中心に学びながら、興味関心に応じて他の領域の科目を履修することもできます。

発展科目



アイデンティティデザイン
多文化共生社会で人々の多様性を尊重する仕組みなど、社会課題に関する知識を修得



ビジネスデザイン
グローバル化する経済・社会の仕組みや、産業、技術発展などに関する知識を修得



エコシステムデザイン
自然と共存しながら発展するための環境保全や生物多様性などに関する知識を修得

基盤科目



平和な社会の構築や多様な主体との協働など、課題解決を行う上での思考・判断の基盤となる知識を修得



リベラルアーツ科目について、詳しくはこちらから >>>



A STUDENT'S VOICE

多角的な視点が未来を拓く

ビジネススキルが身につくと考え、叡啓大学を選びました。マーケティング論やメディア論といった科目を通じて、企業経営や情報発信に関する知識を深めながら、社会課題を見据える先見性や自ら学びを深める自己研鑽力を養うことができます。特にSDGsを意識した5つのPを軸に、自分が興味を持つウィンドウを選べるのが魅力です。起業家と交流できるイブニングラウンジや少人数制の授業で視野を広げ、今は他大学の仲間と地方創生に貢献するビジネスを展開中。年商2,000万円を目指し、多角的な思考を活かして目標の実現に邁進しています。

ソーシャルシステムデザイン学科 3年

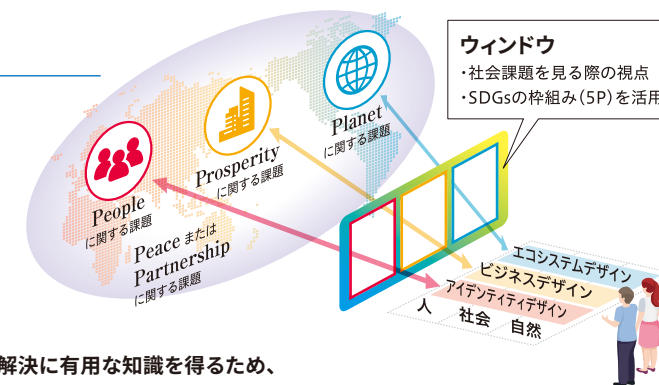
青木 一真さん AOKI Kazuma 広島県（修道高等学校）出身



ウィンドウの設定による学修

ソーシャルシステムデザイン → 自ら創る「ありたい社会像」

SDGsの17のゴールは、実社会における課題に対して、国際社会全体の持続可能な開発目標として設定されています。このことを念頭に置きながら、複眼的かつ多角的で、グローバルな視点から将来を見通すことができる力を養います。各自の興味関心に応じて、課題を見る際の視点となる「ウィンドウ」を選択します。各ウィンドウのテーマに有用な知識が修得できるよう、カリキュラムが構成されています。



課題解決に有用な知識を得るため、
その起点となる科目を、各ウィンドウに分野横断的に配置

授業Pick up ～各ウィンドウでの授業例～

アイデンティティデザイン「多文化共生社会論」 Identity Design

グローバル化や少子高齢化などが進む現代社会では、国籍や性別、年齢やセクシュアリティ、障がいの有無や信仰などに関係なく多様な人が安心して暮らし、活躍できる社会を作っていく事が不可欠です。授業では、個人やコミュニティが持つ多様性とその多様性を生み出す背景を理解した上で、現代社会の中でそれらの多様性がどのような課題の原因となり、また解決の糸口となり得るかを考え、多文化共生社会の形成のために必要な視点と基礎知識を学びます。



ビジネスデザイン「経営戦略・組織論」 Business Design

社会課題が多様化、複雑化し、制度的な境界線を越えるようになり、企業や非営利組織も重要な役割を担う必要性が高まっています。授業では、「戦略を立てる」「組織をつくる」「人を動かす」という経営学の基本概念と理論を学ぶとともに、社会性と事業性を結び付ける戦略マネジメントについて理解を深めます。さらに、その知識を応用し、より持続可能な組織を実現するための戦略を策定することを目指します。



エコシステムデザイン「地域活性論」 Ecosystem Design

授業では、地域活性化の重要なテーマである地域産業とそれを取り巻く地域産業政策について、その概要を捉えます。また、近年のデジタルの流れを背景とした地域ビジネスの変化について、事例等を通じて理解を深め、地域の特性に基づくイノベーションや新事業の創造について理解します。



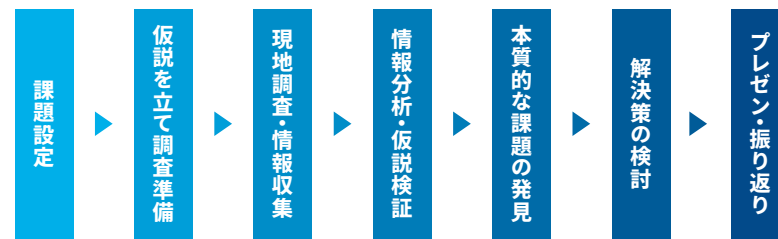
学内・学外での 「実践」 Practical output



課題解決演習 Project Based Learning (PBL)

企業、自治体、NPO、国際機関が実際に直面しているリアルな課題に対して、学生は4名程度のチームを組み、事前学修やグループワーク、現地調査等を通じて本質的な課題を発見し、解決策を検討するプロセスを経験する演習です。1年次、入学してすぐに「ソーシャルシステムデザイン入門」および「課題解決入門」を必修で履修し、自分に足りない知識やスキルを自覚します。2・3年次では、企業などから提供された課題の原因を追究し、解決策の提案までを行う演習に複数回取り組みます。

課題解決演習(PBL)の流れ



課題解決演習(PBL)の事例

事業タイプ	課題タイトル
民間企業(食品)	サラダの世界を広げることで野菜摂取を増進する
民間企業(精密機器)	高齢者のフレイル(虚弱 Frailty)進行を予防するお手伝い
民間企業(地域活性)	地域資源のレモンを育て続ける
民間企業(IT)	The active participation of highly skilled foreign professionals has yet to progress in small and medium-sized enterprises in Hiroshima Prefecture.
公益財団法人	全理事の30%が女性理事となるよう取り組む



A STUDENT'S VOICE

主体的な学びでリーダーシップを発揮

PBLの授業を通して、主体的に行動することの大切さを学びました。7週間という短い期間で成果を出すためには、メンバー全員が協力し、意見を共有することが不可欠です。これまでリーダー経験のなかった私ですが、この授業で初めてその役割を担い、率先してチームをまとめる力を身につけることができました。受け身だった私が積極的に行動できるようになったのは、PBLの授業のおかげです。この経験で得た実行力と主体性は、将来、新規事業を立ち上げる際にも大きな武器になると確信しています。予測不能な時代を生き抜くために必要なスキルが、PBLで身についたと実感しています。

ソーシャルシステムデザイン学科 3年

三吉 泉さん MIYOSHI Izumi 広島県(広島市立広島みらい創生高等学校)出身



叡啓大学 実践教育プラットフォーム協議会

叡啓大学は、修得と実践のサイクルの中に実社会で生じている課題を教育に積極的に取り入れていくことができるよう、企業や自治体、NPO、国際機関と連携するプラットフォーム(叡啓大学実践教育プラットフォーム協議会)を構築しています。企業、自治体、NPO、国際機関の課題を演習テーマとして設定し、学生は解決へのプロセスを実践的に学びます。自ら考え行動に移し、答えを導き出す基礎を養えるのも、叡啓大学ならではの学びです。今後、協議会との連携もさらに充実していきます。

課題解決演習(PBL)取り組み事例

テーマ 世界の「ものづくり」を盛り上げるための活動とは何か

クライアント:ものづくりラジオチーム様(2023・春夏Q)
平岡工業株式会社様、株式会社やまだ屋様、株式会社晃祐堂様、株式会社マルニ木工様、広島エフエム放送株式会社様

ものづくり企業へのポテンシャルを感じてもらい、ものづくりの盛り上げを演出する「産学民共創型PBLワークショップ」を企画。検証を経て、テーマである世界の「ものづくり」を盛り上げるための活動を提案しました。

テーマ 「ビジネス(売上)」と「パーパス(社会貢献)」の両立を目指す 地域資源循環モデル 「Unite for Smile. UMILE ひろしま」の最大化

クライアント:ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社様(2023・春夏Q)

広島市在住の子育て世帯が、ユニリーバ製品を知る・使う・使い続けるきっかけを作るためのワークショップを企画。プロトタイプを制作し、「ビジネス」と「パーパス(社会貢献)」の両立について提案しました。

2025年4月1日現在

叡啓大学実践教育
プラットフォーム協議会
会員数



180

企業・団体



153

県・市町



25

国際機関・
政府関係機関



2

叡啓大学実践教育プラットフォーム協議会について、
詳しくはこちらから >>>



課題解決演習について、詳しくはこちらから >>>



COMPANY VOICE

叡啓大生の課題発見力が事業推進の原動力に

広島県が展開する「おいしい!広島プロジェクト」の推進に向けて、「広島県の食の魅力を考える～おいしい広島になるために～」をテーマにクライアントとして参加しました。その目的は、学生ならではの自由で柔軟な視点から、プロジェクト推進のための新たな気づきを得ることでした。実際に学生はテーマに対し、現状の販売促進における課題や「おいしい」という言葉の定義といった根本的な内容まで踏み込み、鋭い視点で考え、課題を導き出してくれました。学生たちの行動力と探究心に、広島県庁のご担当者も含めて、大いに刺激を受ける機会となり、また、学生の提案に大きな可能性を感じました。貴重な提案や新しい気づきをしっかりと反映し我々のプロジェクトをより多くの方々に共感していただけるよう推進していきたいと考えています。

三菱食品株式会社 様(2024・秋Q)



学内・学外での 「実践」 Practical output



体験・実践プログラム Experiential / practical programs

体験・実践プログラム(国内) 現場体験を通じて企業や地域への理解を深める

叡啓大学実践教育プラットフォーム協議会などと連携し、インターンシップやボランティア活動などに取り組むプログラムです。学生は海外で活動することを必須とし、海外プログラムと合わせて4単位以上(2科目以上)を履修します。担当教員の指導のもと、事前学修では自身が成長させたいスキルの明確化を、実習中は受入先担当者の指導を受けつつ主体的で実践的な学びを、事後学修では受入先担当者からの評価を踏まえた学びの振り返りを行い、プログラム活動の充実と学びの深化を図ります。

国内プログラム(2年次または3年次)

科 目	内 容	期 間
国内インターンシップA	県内企業、市町や県の行政機関、国際機関などにおける日常業務の一端を担うことにより、積極的に社会への関心を高め、仕事に対する理解を深めます。	2週間から数か月程度 ※国内インターンシップBは 4週間以上
国内インターンシップB	国内インターンシップAでは約2週間、国内インターンシップBでは約4週間の間、実習先で自身が設定する課題に取り組みます。	
国内ボランティア	非営利組織の活動支援を行っている団体の協力を得て、地域おこしや教育、外国人観光客対応などの活動に関わることで、自発的な社会貢献の経験を積みます。	

※叡啓大学実践教育プラットフォーム協議会参画団体から提供された実習要項に応募し、参加する「提供型」と、自らが所定の要件を満たした実習先を提案する「持込型」があります。

体験・実践プログラム(海外) 異文化への関心を高め、多様性を学ぶ

国内外の協力機関などと連携し、海外でSDGsや課題解決に関連するインターンシップやボランティア、短期留学などに取り組むプログラムです。学生は在籍中に一度は海外での活動に参加することを必須とし、国内プログラムと合わせて4単位以上(2科目以上)を履修します。担当教員の指導のもと、事前学修、事後学修を組み込んだカリキュラムで、プログラム活動の充実と学びの深化を図ります。

海外プログラム(2年次または3年次)

科 目	内 容	期 間
海外インターンシップ	国内外の民間企業や団体の協力を得て、海外での実務を経験することにより、異文化への関心を高め、交渉能力、協働する能力を高めます。	2週間から 数か月程度
海外ボランティア	海外でのボランティアを紹介している団体の協力を得て、主に開発途上国を中心に活動するNGO/NPOにおいて、海外での支援活動に従事します。社会背景の異なる環境下での体験を通して、現地の支援活動に貢献しながら、積極的に異文化への関心を高め、多様性への理解を深めます。	
海外短期プログラム	学外協力機関や本学の海外協定校が提供する語学・文化体験コースやサマースクールなどの短期プログラムに参加します。	

※大学から5万円/月の奨学金が付与されます。

A STUDENT'S VOICE

自分の世界を超え、新たな道へ踏み出す学び

叡啓大学は、文系理系を問わず多彩な学びに挑戦できる環境が魅力です。国内プログラムでは、福島県川内村のクラフトジン蒸溜所でのインターンシップを経験しました。実習中、ボタニカルの採取から商談会まで幅広い業務に携わる中で、明確な目標を持つ多くの大人に出会い、自分の世界の狭さを痛感しました。自然がもたらす循環や、人々の暮らしを支える基盤の大切さにも気づき、今後の学びへの視野が大きく広がり、モチベーションが高まりました。将来は、日本各地の素材や文化を生かしたお酒を海外に届けたいという夢があり、体験・実践プログラムを通じて得た主体性や実行力を糧に、一歩ずつ前進していきたいです。

ソーシャルシステムデザイン学科 4年

内田 栞さん UCHIDA Shiori 山口県(山口県立華陵高等学校)出身



国際交流協定校一覧

欧 州		チェコ	メンデル大学ブルノ	1
		フィンランド	フィンランド南東部応用科学大学	2
			カレリア応用科学大学	3
		イギリス	ノーサンプトン大学	4
			ブラッドフォード大学	5
			リッチモンドアメリカン大学ロンドン	6
		リトアニア	カウナス工科大学	7
		フランス	情報先端技術学校(EPITA)	8
			パリ・カトリック学院	9
		ドイツ	ハイルブロン応用科学大学	10
		オランダ	ヴィンデスハイム応用科学大学	11
		ベルギー	ヴィウヴェス応用科学大学	12
		クロアチア	ドゥブロブニク大学	13
			アルゲブラ大学	14
		スイス	ジュネーブビジネススクール	15

アジア		マレーシア	INTIインターナショナル大学	16
		バングラデシュ	ダフォディル国際大学	17
		韓国	忠南大学校	18
			誠信女子大学校	19
		台湾	台北市立大学	20
			義守大学	21
			マヒドン大学インターナショナルカレッジ	22
		タイ	スィーバトゥム大学	23
			嶺南大学	24
		中国・香港	アルティンバス大学	25
中 東		トルコ	アル・アハワイン大学	26
アフリカ		モロッコ	アル・アハワイン大学	27
オセアニア		オーストラリア	ジェームス・クック大学	28

北 米		アメリカ	セントラルミズーリ大学	29
			ハワイ大学マノア校	30
			ハワイ大学ヒロ校	31
中南米		カナダ	ニューブランズウィック大学	32
			プリティッシュコロンビア司法大学	33
		メキシコ	モンテレイ工科大学	34
			グアナフアト大学	35

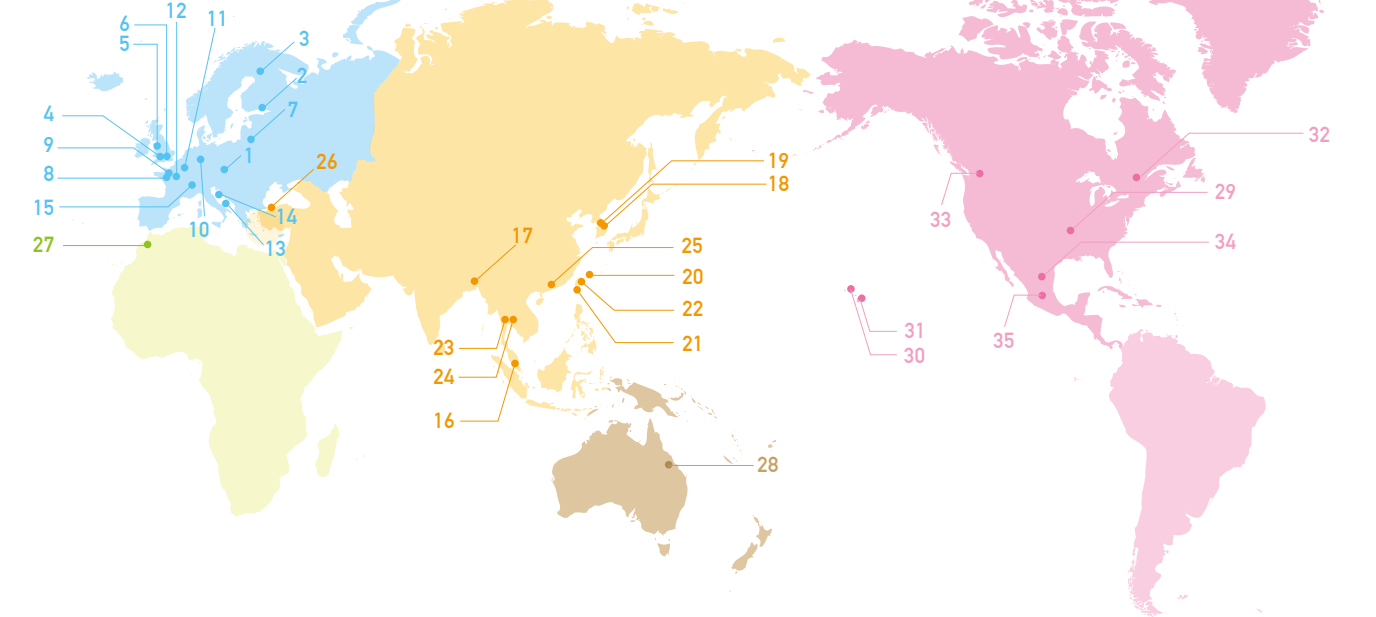
世界22か国の国や地域の35大学と、国際交流協定を締結しています。

留学について、
詳しくはこちらから



(2025年4月1日現在)

22の国と地域に広がる35の大学



留学 Study abroad

様々な課題を自ら乗り越える経験を積むこと、困難に直面しても最後までやり抜くことを通じて物事を実行すること、多様な文化や価値観を有する他者と協働することを目的としています。留学は本学と国際交流協定を結んだ大学への留学「交換留学」「派遣留学」と、協力機関等を通じて留学先を選ぶ「認定留学」の3通りの留学方法があります。「交換留学」では留学期間中、大学から5万円/月の奨学金が支給されます。(併給禁止等の条件がない場合に限り)

留学の種類

	窓口	期間	留学先の授業料	その他必要経費	単位認定	出発時期	行き先
交換留学	本学	3か月～1年	不要	ビザ申請料、渡航費、保険料、生活費（住居費・食費・通信費）など	本学と単位互換可能な科目を履修し、単位認定された場合に単位付与	2年次以降	協定校 35大学 22か国・地域
派遣留学	本学		必要				
認定留学	協力機関 など						

※本学における学事暦上3クォーター以上、上記のいずれかの留学をする場合、卒業のために4年を越えての在学が必要となる場合があります。

A STUDENT'S VOICE

海外でこそ広がる学び

海外での体験を通じ、世界情勢に対する意識が大きく変わりました。留学先のオランダで兵役について話す機会があり、紛争が身近にある地域や厳しい兵役期間の実態を知り、平和な日本で暮らすことが当たり前ではないと痛感しました。同時に、世界情勢に関する自分の知識不足を実感し、もっと世界の動向に目を向ける必要があると強く感じています。この経験を通して広い視野を持つことの大切さを学び、今後も海外での学びを活かして自己理解を深め、グローバルに活躍できる人材を目指したいと思います。

ソーシャルシステムデザイン学科 3年

山内 優菜さん YAMAUCHI Yuna 広島県(崇徳高等学校)出身



卒業プロジェクト

Degree Project

大学での学びの

集大成

卒業プロジェクトについて、詳しくはこちらから >>>



日常から作り出す高齢者コミュニティ ～買い物を楽しめるレジ～

私は、高齢者が会話を楽しみながら買い物ができる「スマイルレジ」の在り方を検証しました。「スマイルレジ」は、セルフレジの普及に逆行し、高齢者が店員とゆっくり会話を楽しみながら買い物できるレジを提案するプロジェクトです。孤独感の解消やリピート顧客の増加を目指し、買い物をコミュニケーションの場として活用することを研究しました。プロジェクトを通じて、顧客のニーズを論理的に検証して見抜く力が身につき、顧客が本当に求めるサービスを把握する重要性を学びました。さらに、高齢のお客様が日常で直面する困難に理解を深め、接客業の本質的な価値についても学ぶことができました。プロジェクトの成果として、プライマリーアドバイザーにサポートしてもらいながら、顧客のコミュニケーションニーズに応じるサービス提案ができたことにも大きな達成感を得ています。卒業後も小売業に携わる予定で、顧客に寄り添い、心の通った接客の重要性を再認識できた経験を活かして、多くの人に喜ばれる接客を提供していきたいです。

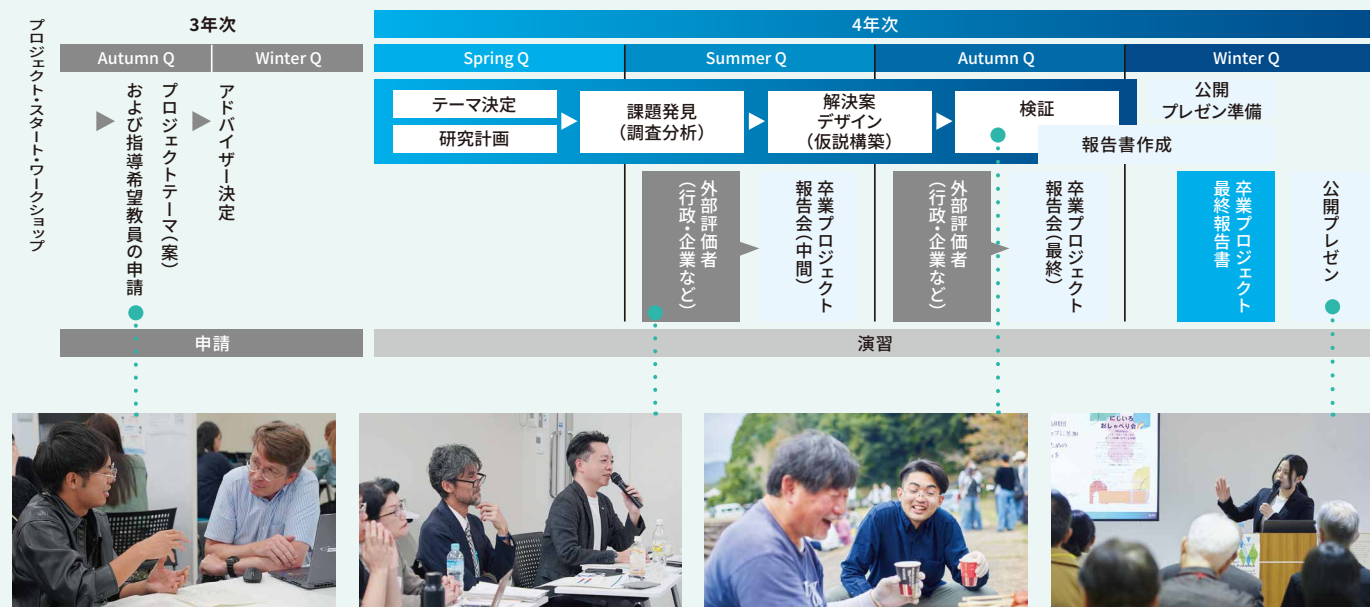
2024年度卒業(1期生)
吉田 奈央さん
YOSHIDA Nao

詳しくはこちらから >>>



Project
01

卒業プロジェクト(全体概要)



卒業プロジェクト

大学での学びの集大成として、学生自らがテーマを設定して、課題の明確化と解決策を導き出すことを目指します。個別の卒業プロジェクトテーマに関する課題研究を、教員が伴走する演習形式で実施。中間・最終の2度行われる報告会には、外部評価者として企業・行政などのステークホルダーを招き、それぞれの課題研究に対して、新規性、実現可能性などの観点からフィードバックをもらいます。それを踏まえて報告書をまとめ、公開プレゼンテーションの場で成果を発表します。

卒業プロジェクトの3つのポイント

Point 01

学生主体の
課題解決型プロジェクト

学生自身がテーマを設定し、調査・分析を通じて課題を明確化。教員のサポートを受けながら、実践的なアプローチで解決策を導き出します。



Point 02

企業・行政との連携による
フィードバック

中間・最終の2回にわたる報告会では、企業や行政などの外部評価者から専門的な視点でフィードバックを受け、研究の新規性や実現可能性を高めます。



Point 03

成果を社会に発信する
公開プレゼンテーション

研究成果は最終報告書としてまとめ、公開プレゼンテーションで発表。学内外のステークホルダーに向けて、自身の学びの集大成を示します。



システム思考及びデザイン思考による、 主観的ウェルビーイングの向上に資する 対話型授業のデザイン及びその有効性検証

私は第4期教育振興基本計画(2023年6月閣議決定)で提示された「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」の実現のために、主観的ウェルビーイング(心身社会の幸せ)が向上する学校の授業について、システム思考及びデザイン思考の手法を活用し、授業を行うことでその有効性を検証しました。同計画及び次期学習指導要領で求められるウェルビーイング向上の授業のモデルが提案でき、教育の変革への貢献が期待されます。

授業準備から実行までは多くのプレッシャーに直面し、私のやっていることが本当に正しいのかという不安との戦いがありました。しかし、システム思考の手法を使って、今やるべきことや考えるべきことが何なのかを整理することで乗り越えられました。プロジェクトを立ち上げ、学術的手法に基づいて、自分の思いを一つの形に作り上げた経験はとても貴重でした。長期間努力し続けることができた自身の継続力や精神力、大きな達成感、人格的な成長につながったと自覚しています。そしてその自信が、今後のキャリアや人生において新たな挑戦を支える基盤になると確信しています。

2024年度卒業(1期生)
柄本 矩宗さん
ENOMOTO Noritaka

詳しくはこちらから >>>



Project
02



カリキュラム | 「修得」と「実践」で構成するカリキュラム体系

		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次										
実践	課題解決演習(PBL)	●課題解決入門		企業などの多様な主体と ●課題解決演習IA						連携し、実践的な課題発見・解決演習に取り組む ●課題解決演習IB		●課題解決演習Ⅱ						
	体験・実践プログラム			■国内プログラム ■海外プログラム		学生各自の興味・関心に応じて、卒業までに最低2回、うち1回は海外プログラムに取り組む ●国内ボランティア ●国内インターンシップA ●国内インターンシップB ●海外ボランティア ●海外インターンシップ ●海外短期プログラム												
修得	基本ツール科目	ICT・データサイエンス		■入門科目 基礎的なICT活用技術やプログラミングのスキルを養う ●ICT入門 ●データサイエンス概論A ●プログラミング入門		■基盤科目 より複雑な課題に対応できるスキルを養う ●ウェブプログラミングとアプリ開発 ●IoT利用による問題解決 ●データ分析と統計モデリング ●データサイエンス実践論 ●情報発信技法 ●データサイエンス概論B ●データ可視化 ●AIビジネス活用論												
		思考系		■入門科目 課題解決に必要な基本的な思考のスキルを養う ●ロジカルシンキング ●デザイン思考・システム思考		■基盤科目		プロジェクトを進める手法や議論を促進し合意形成を図る方法など、他者と協働して課題解決に取り組む上で必要となるスキルのほか、論理的に文章を構成し表現するスキルを養う ●ファシリテーション ●プロジェクトマネジメント ●日本語アカデミックライティング										
	リベラルアーツ科目		■入門科目 人の多様性、社会の仕組み、自然との共存などに関する基礎的理解を養成		■基盤科目		■発展科目 縦軸として(人)(社会)(自然)を設定し、それらを横断する軸としてウィンドウを設定。学生はいずれかのウィンドウを選択して履修するが、興味関心やプロジェクトの進行状況に応じて、他のウィンドウに関わる科目も履修できる											
	People 人間 1 異質をなくそう 2 異種をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 誰の思いも育むみんなに 5 ジェンダー平等を實現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に		●ソーシャルシステムデザイン入門		(人) ●芸術・文学入門 ●哲学・倫理学入門		(人) ●心理学概論 ●平和論 ●宗教と歴史		Peace 平和 16 平和と正義をすべての人に Partnership 共創 17 パートナーシップで目標を達成しよう <td colspan="2">ウィンドウデザイン アイデンティティ</td> <td colspan="2">●哲学・倫理学 ●多文化共生社会論 ●メディア論 ●日本文化論 ●異文化論 ●科学哲学概論</td> <td colspan="2">(社会) ●公共経営論 ●地域協働論</td> <td colspan="2">(自然) ●認知科学概論 ●ヘルスケアサービス論</td>		ウィンドウデザイン アイデンティティ		●哲学・倫理学 ●多文化共生社会論 ●メディア論 ●日本文化論 ●異文化論 ●科学哲学概論		(社会) ●公共経営論 ●地域協働論		(自然) ●認知科学概論 ●ヘルスケアサービス論	
	Prosperity 繁栄 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを				(社会) ●経済学入門 ●法的思考		(社会) ●経営学概論 ●国際協力・安全保障概論 ●社会学概論		ウィンドウデザイン ビジネス		●公共芸術論 ●社会心理学概論		●経営戦略・組織論 ●マーケティング論 ●経済学 ●社会起業家論 ●社会経済システム論 ●産業・ビジネスモデル論		(自然) ●バイオテクノロジー論 ●科学技術史			
	Planet 地球 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう		学生の課題意識を醸成し、学修意欲を喚起		(自然) ●環境学入門 ●科学技術倫理入門		(自然) ●生命倫理学概論 ●人工知能概論 ●数学的思考法		ウィンドウデザイン エコシステム		●文化人類学概論 ●フィールドワーク研究		●環境経済学 ●地域活性論 ●開発経済学		●自然災害論 ●都市環境論 ●環境工学 ●生物多様性論 ●地球環境論 ●生態学			
実践英語		■入門科目 IEP(英語集中プログラム) 授業を英語で受けられるレベルの英語力を養う ●リスニング英語Ⅰ ●リスニング英語Ⅱ ●ライティング英語Ⅰ ●ライティング英語Ⅱ ●リーディング英語Ⅰ ●リーディング英語Ⅱ ●スピーキング英語Ⅰ ●スピーキング英語Ⅱ ●プレゼンテーション英語基礎Ⅰ ●プレゼンテーション英語基礎Ⅱ		■基盤科目 アカデミックな英語力や時事英語など、実践的な英語力を磨く ●アカデミックリーディング ●アカデミックライティング ●カレントイングリッシュ ●プレゼンテーションイングリッシュ ●コミュニケーションイングリッシュ														
日本語 (主に留学生・初心者向け)		●日本語Ⅲ ●日本語Ⅳ		●日本語Ⅰ ●日本語Ⅴ ●日本語Ⅱ ●日本語Ⅵ														

卒業プロジェクト

●持続可能な世界と私たち／SDGsの達成に向けて

3年間の学修成果を踏まえ、学生が自ら解決すべき課題を特定し、原因究明から解決策の立案までを一貫して行います。

充実した教育プログラムと学修サポート

ジャンプスタートワークショップ

入学直後に全員が参加するジャンプスタートワークショップでは、大学のカリキュラムや履修登録方法、学生生活で受けられるサポートや留意点を理解し、4年間の大まかな学修の流れを把握します。このワークショップで集中講義として実施する「ソーシャルシステムデザイン入門」や「課題解決入門」で、入学者同士のチームワークや、社会課題に対する当事者意識を醸成します。

ポート(港)による学生支援

学生40人(1学年10人×4学年)程度を専門分野の異なる教員2~3人が担任する「ポート」を設け、学生を支援しています。教員2人の研究室と学生が滞在する部屋を隣接配置することで、学生が日常的に教員とコミュニケーションをとることができます。学修計画の立て方や履修科目の選択、学修方法についての指導・助言を受けやすい環境です。



完全クォーター制

1年を4学期に分離するクォーター制を導入。自らの履修計画に応じて海外留学やインターンシップ、ボランティアに取り組みやすくなっています。

カリキュラムについて、詳しくはこちらから >>>



教員紹介について、詳しくはこちらから >>>



多彩なキャリアを持つ教員陣

本学には、社会人経験を経て学問の道へ進んだ教員や専門分野で様々な経験をもつ教員が揃っています。

“変化の激しい時代を生き抜く学び”とは何か。

教員自身の経験や研究を踏まえて学生の皆さんに伝えるだけでなく、共に考え、実践できる場を準備します。

ソーシャルシステムデザイン学部



教授 | 英語
BURROWS Christian
バロウズ クリスチャン

The Intensive English Program (IEP) offers students to develop a practical ability in all 4 language skills. This is intended as a platform to be able to take part in lectures and seminars conducted in English. It offers an opportunity for students to build on the knowledge and ability acquired up to high school. If you are motivated to improve your language ability, come and join our student-centered program.



講師 | 経営学
CHENG Ya-Fang
鄭 雅方(テイ ガホウ)

経営学は金儲けのための学問でしょうか？それだけではありません。経営学を学ぶことで、顧客やステークホルダーに価値を提供し、様々な社会的な課題を解決できます。皆さんと経営学の世界を探索することを楽しみにしています。



准教授 | 社会学
KAYUKAWA Junji
粥川 準二

私が専門とする社会学は、社会の変化を捉えつつ、社会問題に取り組むための学問です。パンデミックは終わっても社会問題は終わっていません。“アフター・コロナ”時代の社会問題に取り組むチカラを、叡啓大学でともに育みましょう！



教授 | 自然科学
LASSALLE Michael Wolfgang
ラサール ミハエル ウルフガンク

私の研究の目標は、SDGsやSociety 5.0について語ることはありません。素晴らしいアイデアだけでは不十分です。行動を起こし、挑戦し、努力を通じてのみ道は開けます。自然科学と数学は、その道を照らす欠かせない羅針盤であり、まるで輝く星のように私たちを導いてくれるのです。



講師 | バイオデザイン、情報工学
MATSUURA Yasuyuki
松浦 康之

現場に入り込み様々な視点から調査し本質を理解し、解決すべき事を定義することが、社会問題を解決するイノベーション創出の第一歩です。その方法を学び、実践を通じて、難しさ楽しさを実感して、これからの活かしましょう。



教授 | 科学技術社会論
MIZUSHIMA Nozomi
水島 希

現代の私たちの生活には、科学技術が深く浸透しています。科学や技術は日常生活だけでなく、人生観・生命観そのものにも影響を与えています。社会における科学技術のあり方について、みなさんと一緒に議論できることを楽しみにしています。



准教授 | 言語学
HIGGINBOTHAM George
ヒギンボサム ジョージ

The Intensive English Program will push your language skills so that after six months you will be confident to take your Social System Design courses through English. In the reading classes, for example, you will read a lot of easy books (extensive reading) to increase your reading speed and also read academic texts (intensive reading).



講師 | 健康政策、数理モデル
KASAJIMA Megumi
笠島 めぐみ

人々がより健康に暮らせる持続的な社会づくりに取り組んでいます。健康は、個々の幸福や生活の質を向上させると同時に、社会においても重要な役割を果たしています。健康に配慮した社会システムデザインを共に考えていきましょう。



教授 | データサイエンス
MORI Toshiki
森 俊樹

我々の身のまわりはデータや情報であふれており、インターネット等の普及でその傾向はさらに加速しています。データサイエンスやAI (Artificial Intelligence) の知識やスキルを身につけて、よりよい世界と一緒に実現しましょう。



准教授 | 国際法
NAGAOKA Sakura
長岡 さくら

我々が思っている以上に、法は我々の生活を保護しています。そして、現在では多様性を尊重し、他者と協働することが求められています。叡啓大学にて、「法」という素材を用いて、新たな課題を発見し、その解決に取り組んでみませんか？



准教授 | 英語教育学、教育理論
KASPAREK Nick
カスパレック ニック

English has become a vital, diverse, and dynamic global language for communicating and co-constructing ideas across space and time. As such, active English study develops students' capacity to learn from and join global academic conversations. Moreover, with language mediating our experience of our inner and external worlds, new potentialities for thought, action, and learning can emerge for oneself and others.



学科長・教授 | 調査デザイン
KAWASE Maki
川瀬 真紀

担当科目「課題解決演習」では、連携先からの課題についてフィールド調査を進め、解決の糸口を考えます。学生の皆さんが課題に真摯に向き合う態度を育て合いながら、総合的な実践力を身につけ、成長される様子に励まされています。



准教授 | 社会心理学
NAKAJIMA Motohiro
中島 基宏

どのような時に自分の考えが周囲から影響を受けるのか、またどのような時に自分の言動が周囲にポジティブな影響をもたらすのか、さらに人が人と良好な関係を築く上で大切なことは何か、皆さんとともに議論し学んでいきたいと思っています。



教授 | 文学
PETKOVA Galia
ペトコヴァ ガリア

大学時代は、人生で一番楽しい時期です。それをどう活かすかは、すべてあなた次第です。この期間を上手く使えば、確かな知識と自信を得ることができます。特に、批判的に考えることと、人間の行動や社会を分析し理解することを学びましょう。

教員紹介



教授 | 環境化学工学
SAGEHASHI Masaki
下ヶ橋 雅樹

私たちの生活に欠かせない水を主な対象として、気候変動やプラスチック排出の環境影響をコンピュータ上に再現するシミュレーションを研究しています。計算結果を通じて、持続可能な環境のために今何をなすべきかを議論しましょう！



准教授 | 国際協力、ジェンダー
SEKO Motoko
瀬古 素子

2050年の地球では人口の25%がアフリカ大陸に居り、消費も労働力も社会課題も、世界の中心が動いていきます。若者よ、井戸を出て大海を見よう。世界を知りともに歩むための教養と経験に加え、多文化共生な生き方を観啓で身につけましょう。



教授 | データサイエンス、エネルギーマネジメント
KAWAMURA Tsutomu
河村 勉

データサイエンスやAIなどのデジタル技術に関する講義を行っています。また、地球温暖化対策として、AIを用いて工場やビル、住宅などのエネルギーシステム（蓄電池やヒートポンプなど）の運用効率を高める技術の研究に取り組んでいます。



教授 | プロジェクトマネジメント
SADAKANE Motoi
定金 基

変化し続けるプロジェクトの目的をチームみんなで達成する。学修した内容をプロジェクトの実践のために活用し、そのパワーをさらに実感する。プロジェクトで一人ひとりが自分の個性を最大限に発揮できる環境を提供します。



教授 | 地域活性化、経営学
SODA Yoshinobu
早田 吉伸

環境変化が激しく、大きな価値転換が起きている現在は、皆さんにとって大きなチャンスです。それを活かすためには「ソーシャルシステムデザイン」の考え方を修得し、実践することが有効です。ぜひ一緒に未来をデザインしていきましょう！



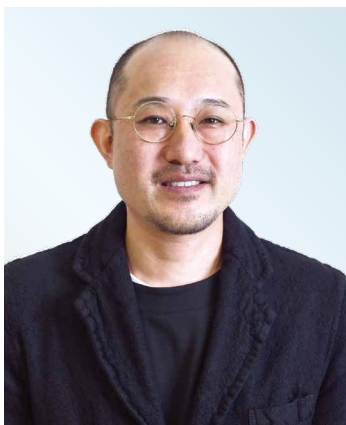
教授 | 情報通信技術
TSUCHIMOTO Yasuo
土本 康生

生成AIの登場により、道具としてのコンピュータの使い道が拡がりました。実現したいことを自らの力で実現できる可能性が高まったと言えます。そんな時代に求められるのは行動力。まずは挑戦、自分が目指す世界を作る一步を踏み出そう！



教授 | 英米文学、英語教育、異文化理解
UESUGI Yuko
上杉 裕子

「別の言語を話すことは別の人生を生きること」ということわざがあります。英語というもうひとつの言語を学ぶことは世界への扉を開くことです。異文化間コミュニケーションの手段としての英語力を磨き、未来の世界に羽ばたきましょう！



准教授 | 哲学・倫理学
WATANABE Kazunori
渡辺 和典

情報が加速的に更新される時代において、事柄の根底、前提、可能性について自らの力で批判的に思考する能力、そして徹底して考え抜く思考の持久力を、哲学をベースに身につけてほしいと思っています。



教授 | 社会システムデザイン、ウェルビーイング
YASUI Toshiyuki
保井 俊之

社会システムデザインは、社会の仕組みを自ら創り出し、ウェルビーイングな未来を実現する学問です。ウェルビーイングつまり人・社会・地球の幸せを実現する仕組みを探究・実践する方法論を学び、ともにより良い未来を協創していきましょう！



教授 | 安全保障論、平和論
YASUTOMI Atsushi
安富 淳

世界に平和な社会をつくるにはどうすればよいのかー私たちの先輩たちは、この難題に取り組んできました。平和とはなにか、戦争や紛争はなぜ起こるのか、どのように予防や解決できるのか、一緒に議論しながら考えていきましょう。

産学官連携・研究推進センター

客員教授



客員教授
ビール アリソン
BEALE Alison

プロフィール
英国出身。オックスフォード大学日本事務所代表。国際文化交流分野でキャリアを積む。教育、文化機関で非常勤の委員、理事等。

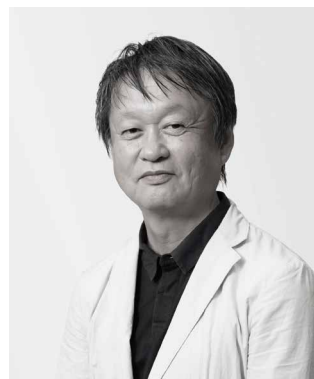
今の世界はものすごい速さで変化しており、私たちが直面する様々な世界的課題を解決するためには創造力と情熱をもって考えることが求められます。これからより良い、より豊かな、そしてより平和な社会をつくっていくために、学生の皆様には大学生活を大いに楽しみながらグローバルシティズンとしてのスキルを大学で磨いていただきたいと思います。



客員教授
藤野 英人
FUJINO Hideto

プロフィール
1966年富山県生まれ。国内・外資大手投資運用会社でファンドマネージャーを歴任後2003年レオス・キャピタルワークス創業。

これからの社会は、既存の価値観にとらわれず楽しんで新しい挑戦をする人たちが創ります。わたしたちと一緒に、しがらみのない組織で未来の価値をワクワクしながらつくっていきましょう。それが個人のしあわせにもつながるのです。



客員教授
深澤 直人
FUKASAWA Naoto

プロフィール
電子精密機器からモビリティ、家具、建築など、世界で70社以上のメジャーブランドのデザインを手掛ける。多摩美術大学副学長、日本民藝館館長。

今後の教育の世界は一箇所に集まると同じ時間で学ぶのかといったような拘りはなくなり、さらに自分の趣味の対象を自由に学べる環境が整うに違いない。大切なのは、その教育によってどのように創発が生み出されるかだと思う。創造と創造が組み合わさって、予測もしない創造物が生まれるという時代に私たちは生きている。Let's make emergence（創発を起こそう）



客員教授
内平 直志
UCHIHIRA Naoshi

プロフィール
北陸先端科学技術大学院大学 名誉教授・特任教授。専門はデジタルイノベーションデザイン。(株)東芝 研究開発センターで研究室長、センター次長、技監を歴任。サービス学会副会長、日本MOT学会理事。博士(工学)、博士(知識科学)。

AIなどのデジタル技術が進化・普及し、それを活かしたイノベーションの機会は広がっているが、多くの困難も存在します。デジタルイノベーションの機会を活かし困難を乗り越える「デジタルイノベーションデザイン」を追求しています。



多様なキャリアデザインをサポート

4年間を通じて「社会・企業」とつながり、キャリアに向き合う教育プログラムで、多様なキャリアデザインを描く学生たちをサポートします。

キャリアデザインオフィス

キャリアデザインオフィスをハブステーションとして、キャリアメンター、観啓大学実践教育プラットフォーム協議会、起業家育成コミュニティなどの関係団体とネットワークを構築し、学生の活動や多様なキャリアデザインをサポートしています。また、専属のキャリアアドバイザーに

よるキャリア相談を随時受け付け、キャリアに関する図書等の閲覧や学生が職員やキャリアメンターと談話するオープンスペース、企業とのオンライン面談用のプライベートブースを整えています。



◎卒業後のイメージ

- ①社会課題を起点に新たな事業戦略を描く企業や公共セクター、グローバルに展開する企業、国際機関、国際NGOの戦略推進、事業部門等で、入社早々に新規事業のプロポーザルが提出できるなどの活躍
- ②起業し、新しいシステムやサービスをグローバルとローカルで展開

イブニングラウンジ

キャリア形成支援の一環として、社会で活躍中の第一人者をお招きし、講演者と学生が自由に意見交換できる場として「イブニングラウンジ」を開催しています。起業家や実業家、グローバル・グローバルに活躍する方々の視点から、社会経済の“今”、“潮流”を学び、そして、ウェルビーイングな働き方、生き方を学ぶなど、毎回活発な意見交換が行われています。



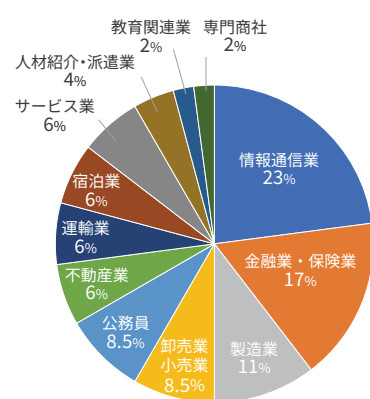
キャリアメンター制度

キャリアメンター制度とは、社会の第一線で活躍する社会人の方々にキャリアメンターとして登録いただき、本学学生が卒業後の多様なキャリアパスの実現に向けて、キャリア設計に関するアドバイスを受けられる制度です。

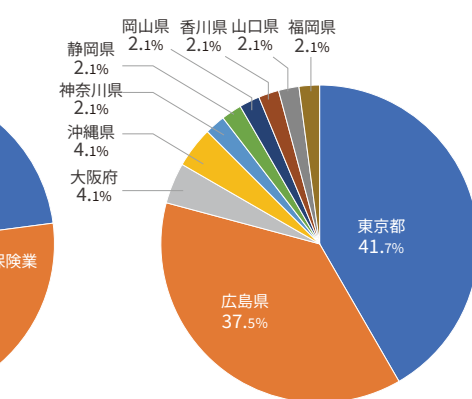
2025 年度 就職データ

アントレプレナーシップ育成教育や語学、AI・ICT等デジタル技術のほか、自らプロジェクトを立ち上げ、ボトルネックの特定から解決策の提案までを一貫して取り組む『卒業プロジェクト』の成果もあり、起業や家業の継承をはじめ、スタートアップ・ベンチャー企業、外資・グローバル企業、情報・通信系など、新規・成長分野を進路とする学生が多くなっています。

■ 業種別内訳



■ 勤務先企業の本社所在地



就職率

100%

※就職を希望しない学生を除いた割合

主な進路

2025 年度 就職データ (1期生)

- 金融・保険業 / (株)広島銀行、(株)みずほフィナンシャルグループ、三井住友海上火災保険(株)
- 製造業 / (株)サタケ、住友金属鉱山(株)
- 卸売業・小売業 / パナソニックマーケティングジャパン(株)
- 不動産業 / 穴吹興産(株)、三井不動産リアルティ(株)
- 宿泊業 / (株)サン・クレア、(株)星野リゾート・マネジメント
- 情報通信業 / RSK山陽放送(株)、(株)NTTデータ中国、(株)CloverWorks、GO(株)、(株)GA Technologies、(株)中国新聞社、日本シノプシス合同会社
- 運輸業 / 佐川グローバルロジスティクス(株)、広島電鉄(株)
- 人材派遣業 / (株)ウィルオブ・コンストラクション、(株)フォーラムエンジニアリング
- サービス業 / (株)ジャパンエンターテインメント、(株)リログループ
- 教育、学習支援業 / 学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校
- 専門商社 / 大江電機(株)
- 公務 / 広島市役所、福山市役所、三次市役所

進学先 広島大学大学院

このほか、3名の学生が起業しています

卒業生インタビュー

詳しくはこちらから >>>



フィンランド留学と卒業プロジェクトが広げた可能性 実践の学びで見つけた新たな夢

ホテルのコンシェルジュになりたい夢がありましたが、語学や観光に特化するか迷い、実践的な学びが豊富な観啓大学を選びました。3年生の夏から約4カ月間、フィンランドに留学。現地の大学でビジネスを学び、多国籍の学生と交流する中で刺激を受けました。幸福度の高い国の暮らしを体験できたのも貴重でした。留学を機に欧州のビーガン文化に関心を持ち、広島市の飲食店の対応状況を調査。チェックリストを作成し、広島観光コンベンションビューロー様に導入していただくなどの活動を行いました。これらの経験からホテルのマネジメントに挑戦したいと思い、星野リゾート・マネジメントに就職を決意。観啓大学は可能性を広げてくれる環境で、多彩な経験ができる場だと感じています。

株式会社星野リゾート・マネジメント
松浦 杏奈さん 2024年度卒業(1期生)



観啓での学びが挑戦を生む 実践の連続で仲間と一緒に未来をつくる

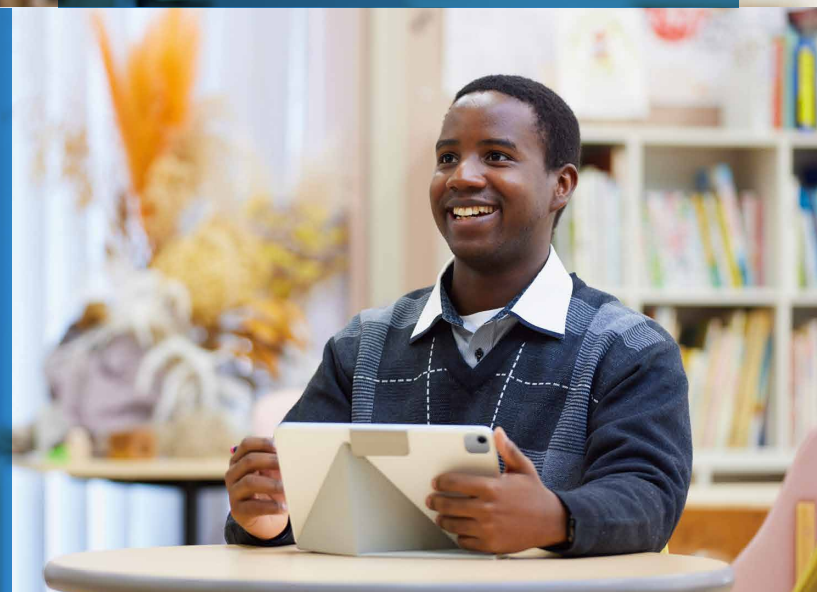
観啓大学を選んだ理由は、文理を問わず学べる環境と、修得と実践を繰り返すカリキュラムに魅力を感じたからです。入学後は課題解決を目指す「プロジェクト」に力を入れ、1年生の夏から友人とキャンパスのコミュニティ commons にピアノを設置するプロジェクトに挑戦。2年かけて30万円の寄附金を集め、県立広島大学からピアノを譲り受け、調律して設置しました。また、企業と連携する「共創プロジェクト」では、ツネシホールディングス様で新規事業に関する人材採用・育成について提案。卒業プロジェクトでは、学生が効果的にプロジェクトのテーマを設定できる方法論を研究し、後輩支援の場を設けました。4月からはN高でPBLのメンター教員として生徒をサポートします。進路に迷う人こそ、観啓大学で新たな可能性を見つけてほしいです。

学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校
伊藤 悠祐さん 2024年度卒業(1期生)

課題解決の学びが生んだビジョン 持続可能な農業を実現するために、ウガンダの農業支援に挑む

新しい大学の歴史の一部になれること、プロジェクトベースの学修、多国籍環境に魅力を感じ、観啓大学に進学しました。キャンパスだけでなく広島のみならず、地域から海外までを学びの場とする点や創造性と革新性を重視する大学のコンセプトにも共感しました。課題解決演習(PBL)では、プラスチック再利用の研究に取り組み、地域との関わりを深めました。多様な選択肢を探る中で、アフリカの一次産業を改革したいという目標が生まれ、農業に焦点を当てるようになりました。広島県にあるグローバル企業である、株式会社サタケに就職し、将来的には母国ウガンダの農業に貢献したいと考えています。生産効率を向上させ、持続可能で収益性の高い農業を実現し、農家がより健康的な食品を生産できるよう支援していきたいです。

株式会社サタケ
デンベ フランシスさん DDEMBE Francis 2024年度卒業(1期生)



未来を作る仲間とともに、社会の価値創造を実現するプロジェクトの紹介



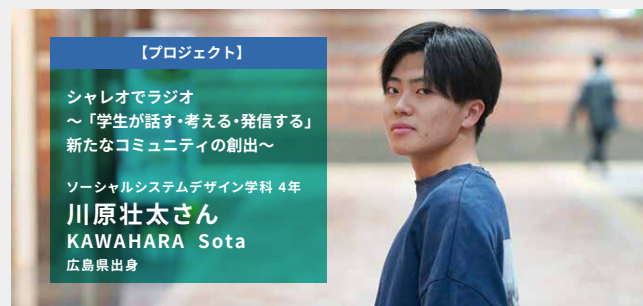
【プロジェクト】

高校生不登校ジャーナリストによる
社会課題発見ディストリビュー
ションシステム

ソーシャルシステムデザイン学科 4年
成毛 侑瑠樺さん
NARUGE Uruka
熊本県出身

不登校の視点が社会を変える

本プロジェクトは、不登校経験のある高校生ジャーナリストを中心に、社会課題の発見や解決策を模索する仕組みを築き上げています。学内外の支援者と協力しながら記事制作やイベントを企画し、多様な声や視点を伝えることで、現場と大学の学びをつなげる体験を重視しています。特に、当事者が自身の想いを発信できる機会を設けることで、より深い理解と共感が生まれています。さらに、現場での聞き取りや観察を踏まえた発信を行い、同じ悩みを抱える当事者へ届ける工夫も重ねています。「一人ひとりが自己否定せずに生きられる社会」の実現を目指すこの挑戦は、参加する学生の成長だけでなく、周囲の支援者にも新たな気づきをもたらしています。



【プロジェクト】

シャレオでラジオ
～「学生が話す・考える・発信する」
新たなコミュニティの創出～

ソーシャルシステムデザイン学科 4年
川原 壮太さん
KAWAHARA Sota
広島県出身

街を舞台に学生の声が響く、新たなコミュニティ創造。

全国ワーストといわれる若者転出超過が課題となっている広島県において、「広島を出ても繋がれる場」を目指す「シャレオでラジオ」プロジェクトを始動しました。SNS全盛の時代だからこそ、あえてラジオの可能性に着目し、学生が主体的に情報発信できる場を創出します。紙屋町シャレオの空きテナントにラジオブースを設置し、学生と企業、地域住民が交流できる新たな街のスポットづくりに挑戦しています。公開収録では、居心地の良い場所について参加者と意見交換を行うなど、双方向のコミュニケーションを重視。ラジオを通じて繋がりを生み出し、広島の活性化を目指す熱意が新たな街の活力をもたらします。課題解決演習(PBL)で培った企画力と行動力を活かし、ラジオというツールで社会にインパクトを与えることを目指しています。

プロジェクトについて、詳しくはこちら >>>



共創プロジェクト 産学官連携・研究の取組

企業が抱える課題の解決や新規事業の創出に向けて、企業・教員(プロジェクトマネジメント人材)・学生が「チーム」を組んで取り組むプロジェクトです。

資源の循環を早める
廃棄物処理の新しい見方の検討

クライアント 株式会社オガワエコノス様

廃棄物処理業は、日常生活や企業活動を支える「なくてはならない」事業。環境問題の解決や循環型経済に寄与する先進産業としての廃棄物処理業界の魅力を発信するため、業界のイメージアップにつながる手法を検討しました。

新規事業開発プロセスの
策定検討とアイデアの創出

クライアント 常石商事株式会社様

既存概念にとらわれず従来の枠組みを超えた発想や市場を探り、社会の課題を企業価値に変える新規事業アイデアを継続的に創出する仕組みを検証・実証することで、新たな価値を生み出しつづけることを目指しました。



詳しくはこちらから >>>



クラブ活動

クラブ団体が自主的に立ち上がり、自発的に活動しています。

仲間と一緒に、
夢中になれる場所がここにあります。

Extracurricular Activities



叡啓大学ダンス部



ふれあい食堂



サステナ部



学生祭実行委員会



叡啓写真部



参加者の皆さんに学生祭を楽しんでいただけるように準備しています。
最高の学生祭を創り上げるために、皆さんの参加が不可欠です!ご参加をお待ちしています!

サステナ部
(SASUTENA club)

Eikei SUP

冒険部
(Adventure Club)

アトリエ
(Atelier)

叡啓バレーボール部
(Eikei Volleyball Club)

叡啓バンドクラブ
(Eikei Band Club)

叡啓大学ダンス部
(Eikei Dance Club)

叡啓ゲーム部
(Eikei Gaming Club)

叡啓大学ソフトテニス部
(Eikei Soft-tennis club)

起業部
(coco-labo)

韓国サークル 하루 하루
(Korean Club 하루하루)

叡啓格闘技クラブ FSC EIKEI FSC
(Fighting Sports Club)

叡啓写真部
(Eikei Photography Club)

AIIESEC 広島委員会
(AIIESEC Hiroshima Universities Local Committee)

卓球クラブ
(Table Tennis Club)

叡啓大学麻雀倶楽部
(Eikei University Mahjong Club)

S'more

叡啓ピザ窯倶楽部
(Eikei Pizza Oven Club)

文化交流クラブ
(Exchange Culture Club)

詳しくはこちらから >>>



世界に開かれた、HIROSHIMAの都市型キャンパス。

Life in Hiroshima

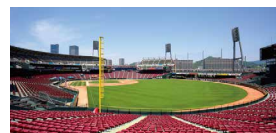
キャンパスは広島駅から
徒歩10分なので
とっても便利♪

市街地にありながら静かで、
研究や学びに最適な環境です。

まち全体がキャンパス

本学のキャンパスは15階建ての建物です。JR広島駅から徒歩約10分と通学における利便性が高く、市街地にありながら、静かで教育・研究に適した立地環境にあります。アクセスが良く、企業など多様な主体と連携しやすいため、質の高い学修プログラムを提供することができます。

広島市中心部に位置する都市型キャンパスで楽しむ4年間



MAZDA Zoom-Zoom スタジアム 広島
プロ野球チーム・広島カープ。その本拠地へは広島駅からなんと徒歩10分!



エディオンベースウイング広島
リーグ・サンフレッチェ広島のホームスタジアムも本学から歩いて15分。



広島県立総合体育館 (広島グリーンアリーナ)
緑豊かな都市公園内の景観に調和したスポーツ施設。スポーツ大会、コンサート、各種ショーなど様々なイベントが開催されています。



本通周辺

オシャレな店が立ち並び本通周辺エリア。セレクトショップや百貨店など、広島市で人気のショッピングエリアです。



市内電車

広島市内には路面電車が張り巡らされているので、どこに行くにも便利。買い物や観光におすすめです。



広島県立美術館

広島にゆかりのある作品や重要文化財、民芸品を展示しています。



広島市現代美術館

斬新なデザインの外観が印象的な現代美術館。国内外の現代美術作品を展示しています。



ひろしま美術館

ヨーロッパ近代名画と日本近代美術を収蔵。特に印象派のコレクションは日本屈指です。



JR 広島駅

新幹線のぞみの停車駅でもある「広島駅」。大阪方面・福岡方面からのアクセスも大変便利です。広島駅ビルには広島のお土産・ご当地グルメが充実!駅周辺にも家電量販店や百貨店などが立ち並びます。



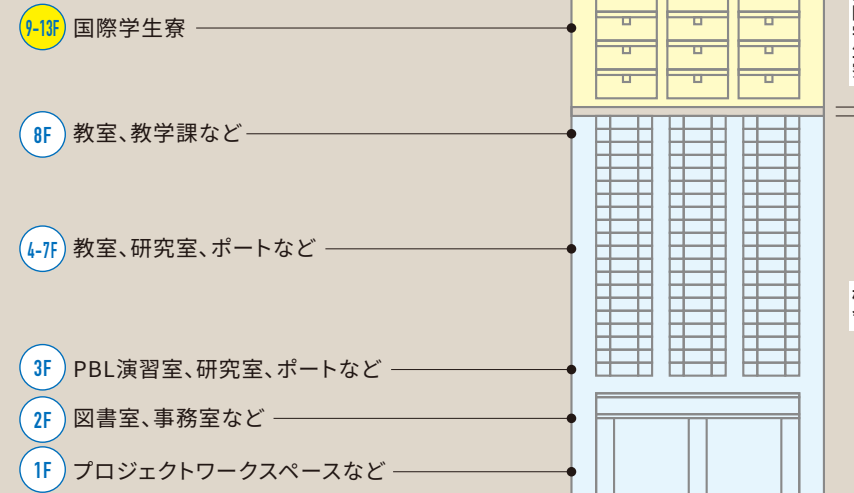
広島バスセンター

都市間高速バス・県内高速バス・空港リムジンバス・郊外バスなど、広島のバスネットワークの拠点として、西日本でも有数の規模を誇るバスターミナル。

Facility 施設紹介

観啓大学校舎フロア図

- 15F 観啓トップ・EUH Cafeteriaなど
- 14F 英語ラウンジ、ラーニングcommons、キャリアデザインオフィスなど
- 9-13F 国際学生寮
- 8F 教室、教学課など
- 4-7F 教室、研究室、ポートなど
- 3F PBL演習室、研究室、ポートなど
- 2F 図書室、事務室など
- 1F プロジェクトワークスペースなど



1F

プロジェクトワークスペース

「新たな社会価値を創造する共創の〈場〉」をコンセプトに、プロジェクトワークスペース(PWS)を観啓大学実践教育プラットフォーム協議会の会員の皆様に開放しています。社会の多様なステークホルダーが交流することで、新しい社会の価値を創造するコミュニティスペースとなることを目指しています。



1F

コミュニティcommons

学生と地域の方との交流の場として、広く開放しています。1期生が「EIKEI PIANO PROJECT」としてストリートピアノを設置したり、学生が企画したイベントを開催したりするなど、子どもから大人まで地域の多様な方々と交流を進める取り組みも行われています。

15F



観啓トップ

窓から広島市の街の様子を一望できる広々とした空間です。一人で自習したり友人と語り合う場所として最適です。天気の良い日は瀬戸内の島々が見えます。

15F



EUH Cafeteria

2023年11月にオープンした学生食堂。一般のメニューの他、多国籍の学生にも対応したメニューを提供しています。

14F



英語ラウンジ

英語のみを使用するスペースです。英語ニュースが常時流れ、海外の書籍やDVDがたくさん置いてあります。ネイティブの英語の先生たちが曜日や時間によって滞在し、授業以外の時間でも英語に触れることができます。

3-8F



教室

可動式の机やイス、ホワイトボードを備え、アクティブに学修できる環境になっています。

9-13F

徒歩0分の国際学生寮

学びと生活が一体化した国際学生寮は、留学生と日本人学生が共同生活を通じて、国際感覚を磨くことができます。管理人は配置されず、各フロアの学生レジデント・アシスタント(RA)、スチューデント・アシスタント(SA)が中心となり、大学教職員とも連携しながら、入居者の寮生活をサポートします。自らが寮生活の改善や向上に積極的に取り組み、国際学生寮を発展させていきます。



レジデント・アシスタント(RA)

各フロアに1名ずつ配置され、担当フロアを管理し、教職員との定期的な連携や寮生間の交流活動を行います。2LDKユニットに1人で居住しますが、ユニットスペースの一部は、他の寮生との交流活動の場として共有してもらいます。

スチューデント・アシスタント(SA)

寮生のみなさんが順番に役割を担う持ち回り制で、5名前後の担当グループの状況を確認し、グループの寮生が快適な生活を送れるように支援します。また、RAを補佐してフロアの交流活動も行います。

入寮対象 観啓大学の学生
※留学生および交換留学生を優先します。

在寮期間 最長2年間

部屋タイプ (個室面積)	個室	ルームシェア		RA
		2LDK 洋室・和室 (12.1~12.5㎡)	3LDK 個室Aタイプ洋室 (18.2㎡)	
戸数	74戸	5戸	5戸	5戸
入居者数/戸	1名	2名	3名	1名
寮費(月額)シェアタイプは 1名当たりの料金	46,000円	32,500円	37,000円	46,000円
共益費(月額)	1,000円(共有フロア電気代、Wi-Fi使用料)			

※その他、光熱費(実費)などが必要です。

施設について、詳しくはこちらから >>>



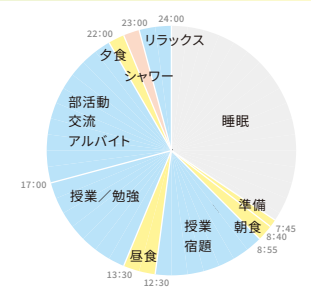
寮生活

ソーシャルシステムデザイン学科 3年
アニルクマ チャヴィさん
(インド出身)
ANILKUMAR Chhavvi

■寮生の1か月支出平均	
● 家賃	38,000円
● 光熱費	5,000円
● 食費	30,000円
● その他雑費	9,000円
合計	82,000円

■チャヴィさんのある1日

(00:00 - 07:45) 睡眠
(07:45 - 08:40) 準備
(08:40 - 08:55) 朝食
(09:00 - 12:30) 授業・宿題
(12:30 - 13:30) 昼食
(13:30 - 17:00) 授業・勉強
(17:00 - 22:00) 部活動・交流・アルバイト
(22:00 - 22:30) 夕食
(22:30 - 23:00) シャワー
(23:00 - 24:00) リラックス



一人暮らし

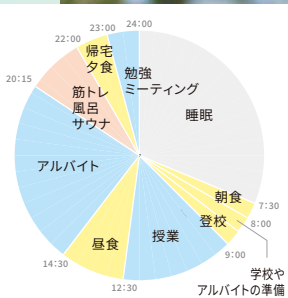
ソーシャルシステムデザイン学科 2年
吉村 直城さん
愛媛県(愛媛県立宇和島高等学校)出身
YOSHIMURA Naoki

■寮生の1か月支出平均

● 家賃	39,000円
● 光熱費	3,500円
● 通信費	3,000円
● 食費	35,000円
● その他雑費	10,000円
合計	90,500円

■吉村さんのある1日

(00:00 - 07:30) 睡眠
(07:30 - 08:00) 朝食
(08:00 - 08:30) 学校やアルバイトの準備
(08:30 - 09:00) 登校
(09:00 - 12:30) 授業
(12:30 - 14:30) 昼食
(14:30 - 20:15) アルバイト
(20:15 - 22:00) 筋トレ・風呂・サウナ
(22:00 - 23:00) 帰宅・夕食
(23:00 - 24:00) 勉強・ミーティング

叡啓大生の1日について
詳しくはこちらから

叡啓大生の出身高等学校等所在地

国内／計330名

高卒認定／2名

中国／199名

岡山県／25名

広島県／155名

山口県／10名

島根県／8名

鳥取県／1名

東北／4名

北陸／2名

北関東／1名

南関東／4名

甲信／3名

東海／10名

近畿／23名

四国／32名

九州／44名

沖縄／3名

北海道／3名

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%

東海／3%

近畿／6.9%

中国／60.3%

四国／9.7%

九州／13.3%

沖縄／0.9%

北海道／0.9%

その他／0.7%

東北／1.2%

関東／1.5%

北陸／0.6%

甲信／1%